

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等		(主)伊那生田飯田線		
事業毎の通番		3		市町村名		松川町		
事業目的		(主)伊那生田飯田線は、伊那市を起点として飯田に至る主要幹線道路であり、一級河川天竜川の左岸に位置し、古くから対岸の国道153号と並ぶ街道である。 宮ヶ瀬橋は、松川町に位置し、竜東と竜西をつなぎ、地域間交流に寄与してきた。しかしながら、現橋は、幅員は狭小で歩道もなく、大型車のすれ違いにも支障をきたしており、安全で円滑な交通確保が課題となっている。 このため、本事業は、宮ヶ瀬橋を含めた狭隘区間について、橋梁架け替え及び道路築造による、抜本的解消を図り、安全で円滑な道路環境を実現するものである。		箇所名(ふりがな)		宮ヶ瀬橋(みやがせばし)		
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		5-2 快適で暮らしやすいまちづくり (暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等		道路法		
関連する事業、計画等		南信地域広域道路網計画						
保全対象・範囲 受益対象・範囲		計画交通量:5,700台/日(H42推計)						
着手年度		平成27年度		事業期間		6年間		
完成年度(見込み)		平成32年度		事業費(千円)		財源内訳(千円)		
全体事業内容(主な工種)		道路築造工 L=1,200m W=6.5(10.25)m うち橋梁 L=170m W=6.5(10.0)m		2,500,000		1,500,000		
27年度事業内容(主な工種)		・道路構造物・橋梁詳細設計一式 ・用地買収一式、橋梁下部工1基		250,000		150,000		
事業効果		直接的効果 (定量的・定性的)		走行時間・経費等の減少 27億円 緊急輸送路の整備 バス路線・通学路対策				
		間接的効果 (定量的・定性的)		地域間交流の促進				
評価の視点	必要性		○代替道路の有無：代替道路がない ○交通結節点アクセス：松川IC、JR伊那大島駅へのアクセス道路、バス路線 ○生活支援：下伊那赤十字病院、松川町役場、中学校との連携が発揮できる道路 ○地域の活性化：竜東地区、竜西地区をつなぎ、地域の活性化に資する				評価	
	重要性		○関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プラン 緊急輸送路の整備 ○緊急輸送路の路線指定：緊急輸送路(2次) ○地域指定：地震防災対策強化地域				評価	
	効率性		○費用対効果(B/C)：1.1 ○事業期間：6年(H27~H32) ○工法等の比較検討：コスト縮減に関する工法比較検討あり。 ○他事業との連携：なし				評価	
	緊急性		○近年の交通事故件数：なし ○危険箇所対策：県道法面が土砂災害特別警戒区域に指定、橋梁長寿命化修繕計画 主桁、床版ランクⅢ。 ○歩道整備：通学路対策 ○現況の幅員、半径、勾配：現況橋梁幅員5.5m未満、橋門構が支障となり大型車すれ違い不可。				評価	
	計画熟度		○事業情報の共有：関係者以外にも周知(地元説明会と町広報誌により広く周知) ○地域の取り組み：積極的な取り組みがある。(宮ヶ瀬橋架替促進期成同盟会) ○地域の合意形成：事業目的について合意形成が図られている。 ○住民との協働：今後住民の関与が見込まれる。				評価	
	部意見		事業の必要性、重要性が高いため、平成27年度から事業化したい。		行政改革課意見		当路線は、松川町の竜東地区と竜西地区を結ぶ重要路線であること、橋梁が老朽化していることから、重要性が高く、必要性も認められる。	
				評価結果		総合評価		
				○		A		

事業概要説明図表	【位置図】		【平面図】		
事業概要説明図表	【写真】		【標準断面図】		
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景		・松川町の宮ヶ瀬橋は、昭和33年に架設され55年経過した老朽橋である。幅員も5.5mと狭いことから大型車のすれ違いが困難であり、地形的な制約から左岸側の道路線形が不良で見通しが悪い状況となっている。平成18年7月19日の「平成18年7月豪雨」により、左岸側橋台の巻き込み護岸が決壊し、橋台裏の土砂が吸い出され舗装が陥没し全面通行止となったことから架け替えについて強い要望が出ている。		
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり		・平成19年以降、下伊那土木振興会、北部ブロック町村議会から毎年要望が挙がっている。 ・平成21年以降、宮ヶ瀬橋架替促進期成同盟会から毎年要望が挙がっている。 ・平成22年以降、松川町現地調査から毎年要望が挙がっている。		
	③事業説明等の経緯		・平成24年12月26日、平成25年12月18日 松川町、議会、関係区長にルートを説明。 ・平成26年4月29日、5月1日、6月13日、6月15日、地元説明会を実施。		
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連		・しあわせ信州創造プラン「緊急輸送路の整備」 ・南信地域広域道路網計画に「地域の取組拠点を結び活性化を支える道路」として位置付けられている。		
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮		・保安林・急傾斜地を避け、大規模な切土や盛土にならないようにルートを選定。 ・路肩部の土留は構造物でなく土羽構造とし、緑化を図る。		
	⑥地域活性化への影響と配慮		・宮ヶ瀬橋の架け替えを含めた道路改良により、竜東地区、竜西地区を結ぶ重要道路における交通ネック箇所を解消し、生活道路としての快適性、安全性を確保による地域の活性化を図るものである。		
	⑦その他		事業代表地点の緯度経度 北緯:N 35° 35' 35" 東経:E 137° 55' 31"		